

太工通信

令和5年度第5号

機械科 専門学科講師派遣事業

燃料電池やEV 実車で体験授業

太田高

太田

燃料電池自動車や電気自動車（EV）を教材とした体験授業が13日、太田市の太田工業高で行われた。3年生約



40人が実車に乗り込み、原理や構造について理解を深めた。

3年の全学科が対象の選択授業「自動車工学」の一環。体験に先立ち、群馬自動車大学校（伊勢崎市）広報課の小林善郎係長が、燃料電池の原理を説明した。生徒たちは大学校が所有する燃料電池車やEVなど4台に分乗し、運転方法を確かめたり、機械音を聞いたりした。写真。

米テスラ社のEVに乗った中林 洸太郎さんは「車高は低いが快適だった。将来は自動車関連の仕事に就きたいと考えている。体験を役立てたい」と話した。

小林係長は「自動車も多様化してきている。未来の車選びに役立ててもらえれば」と期待した。次週はイタリアのスーパーカー、フェラーリやランボルギーニなどを教材とした授業が行われる。（小林大輝）

憧れの車に触れて感動

太工高で「自動車工学」体験授業



太田

スポーツカーとレーシングカーを教材にした体験授業が18日、太田市の太田工業高で開かれた。写真。3年生約40人が実際に車に乗り込み、車体の構造や自動車の歴史について理解を深めた。

選択科目「自動車工学」の一環で群馬自動車大学校（伊勢崎市）広報部の小林善郎係長が講師を務めた。同大学校が所有するランボルギーニやフェラーリの車両、ラリー大会に参加したレーシングカー

を工業高の校庭に持ち込み、車体の構造やデザイン性などについて説明した。生徒は実際に座席に座り、乗り心地を確かめた。青木海璃さん（18）は「車高と目線が低くて驚いた。上下に移動するドアがかっこいい」と目を輝かせた。

小林係長は「生徒が将来、自動車整備工になる時の参考にしてもらえればありがたい」と話した。（新井正人）